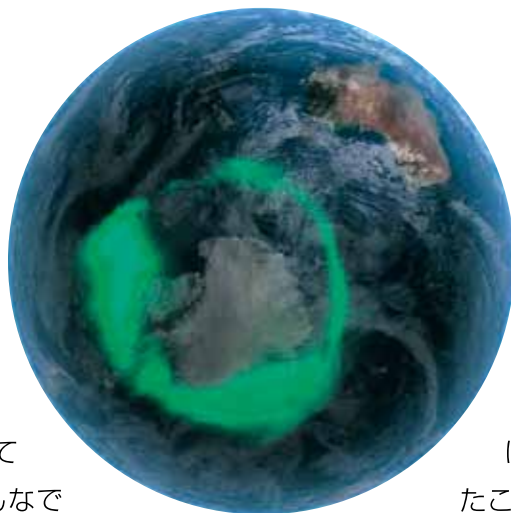


介護が同時にあったことです。子どもの夜泣き、発熱、両親の病気など、もう昼も夜も無いんです。なので私が勤めていた会社もみんなが協力してくれました。会社の会議室に同僚や上司に来てもらい、妻の仕事、私の仕事・育児・介護について説明会を行いました。するとみんなで協力しようという雰囲気になり、仕事も私のペースに合わせてくれました。



一生懸命できたのか。やはり私の両親のつくった家庭が原点です。愛情をたくさん受けて育ていたので、両親が介護状態になった時には恩返しをしたいと自然に思いました。これは自分が赤ちゃんだった時に、父も母も一生懸命育ててくれたことを知っているからです。そのおかげで、私が子育てするときも、愛情をこめて娘を育てることができました。父と母に対しても恩返しことができました。「家庭をまず安定させましょう。その上で仕事なんですよ」という考え方をみんなで共通認識として持ったほうが良いと思います。

父と娘はパートナー

子育てをしているとやはりすごいストレスがたまって、その息抜きのために弓道を始めました。弓道に子どもを連れていくと私の真似をするんです。これが可愛くてしょうがなくて、子育てはいいなと思いました。私と娘は親子という関係ではだんだんなくなってきて、パートナーというか、同志なんですね。僕がカゼで寝込んでしまった時には、娘はまだ幼稚園生だったんですが、ちゃんと食事を用意して枕元に運んでくれました。

私は2004年に退職して主夫になり渡米しました。妻は仕事をしながらどんどん成長して、私は技量や経験が失われていくような状況でどんどん焦っていき、ついにはひきこもりやうつ病になりました。けれども死ぬ気になれば何でもできると思い、米国永住権(グリーンカード)に挑戦したり、宇宙関係の会社を立ち上げたりしました。妻が宇宙に行ったときは、「終わった～」という安堵感が先に来て、その後、妻の夢がやっと叶ったという喜びがわいてきました。

私の考える男女共同参画

なぜ私がここまで両親の介護、育児、妻のために

私の経験上、親の介護はその子どもがやったほうが良いと思います。それはやはり育ててもらった恩返しという気持ちで介護するほうが、心をこめてできますし、それが連鎖的にいい形になっていくと思います。

先月、次女が生まれました。妻は15日間宇宙にいて、放射線を15ミリシーベルト浴びました。震災の後も、日本中放射能が心配されましたけれども、それでも無事に元気な女の子の赤ちゃんが生まれました。

私のこれからの夢

宇宙からオーロラを見たいです。オーロラを地球からだいぶ離れたところから見ると丸く見えるらしいです。何事もそうですけれども、一度離れてみて、遠くの視点から物事を見てみると新しい発見につながったり、新しい考え方が生まれてきます。地上のいざこざが非常にちっぽけに思えてきます。それぐらい大きな心でいろいろな物事を、気持ちの中で整理しながら、準備しながら、夢に向かって進んでいけたらいいなと思います。

